



教育センター・育成センター所報

GALILEI



要請授業 (地層観察会)



要請授業 (科学クラブ)



養護教諭のための授業づくり講座



算数・数学 公開授業と師範授業

CONTENTS

○今月の巻頭言…………… P 1

★教育長就任にあたって

柏崎市教育委員会
教育長 本間 敏博

○教育センターだより…………… P 2

★アクセス (教育研究班)…………… P 2

★プロジェクト K (科学技術教育センター)…………… P 4

★心の窓 (教育相談班)…………… P 8

○12月の行事予定表…………… P 10

○所員随想「つれづれ」…………… P 10

★魚釣りが好きです…………… ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法

平成27年11月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

教育長就任にあたって

柏崎市教育委員会

教育長 本間 敏博



この10月30日に教育長に就任しました本間敏博です。どうぞよろしくお願いいたします。

本市の教育委員会が所管している業務は人の生涯にわたる広範なものであり、その点においても教育長の責務は重いものがあると認識しています。

この度の教育長就任は、今年4月1日から地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行となったことを受け、本市教育委員会が前大倉教育長の教育委員としての任期満了に合わせ新制度に移行したことによるものです。この教育委員会制度の改正内容の主なものは、教育行政の責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携の強化を図ることなどであり、教育委員会組織のあり方が大きく変わったものであります。

特に教育行政の責任体制の明確化については、これまでの教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者となる新教育長を置くものであります。これまで以上に迅速な危機管理体制が求められ、その責任の明確化も求められているものであります。そのため新教育長としての職責は、これまで以上に重いものと認識していますが、制度改正の主旨にのっとりの確な教育行政の運営と執行に努めてまいりたいと考えています。また、その基本となります教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、教育委員会が合議体の執行機関としての機能と役割を果たせるよう努めてまいります。

さて、全国的な傾向と同じように、柏崎市でも少子高齢化や人口減少が進んでいます。特に年少人口の減少により、子育て世代への対応や学校教育現場の変革が求められています。今後さらに教育行政への様々な影響が懸念され、市民ニーズも多様化することと思われまます。

そのため、子育て支援の一層の充実を図り、子育てしやすい環境を作ることで「柏崎で子育てしたい」というようなまちを目指したいと考えています。

幼稚園・保育園と小学校との連携、さらには小学校と中学校との連携を深め、地域との協調により保育園や小中学校での地域特性を活かした魅力ある保育園・学校づくりも進めたいと考えています。

本市は豊かな自然や地域の伝統文化、歴史など、特色ある多くの資源に恵まれています。生涯学習活動を通して、これらの地域資源を再認識し、市民がふるさと柏崎に愛着や誇りが持てる事業にも力を入れたいと考えています。

誰もがスポーツに親しみ、楽しめる機会を一層充実させるとともに競技スポーツの強化を通して、健康づくりや地域活性化にも繋げたいと考えています。

この他にも新たな視点と発想をもった教育施策に取り組んでまいりたいと考えています。

最後に、柏崎の教育が、明日の柏崎を支える人材を育てられるよう「人づくりはまちづくり」をモットーに、教育関係者の皆さんとともに教育行政に取り組む所存であります。

■研修講座 ～2つの授業公開～より

より実感を伴った保健学習を創るために…

◆11/10（火）養護教諭のための授業づくり講座 授業公開&協議会
授業者：鯖石小学校 関川 芽衣 養護教諭 宮嶋 利光 教諭

この講座では、生活習慣（睡眠）にかかわる授業公開と、その後の授業の振り返りを行いました。

そこでは、児童から、睡眠不足になると、気持ちが不安定になったり、学習に集中できなくなったりする実体験の発表がありました。その後、関川養護教諭から睡眠不足が原因の心身の症状について説明がありました。

後半は、養護教諭と学級担任が役割を果たしながら睡眠不足の解決方法について指導した後、児童が意見交換する場がありました。

参加された先生方の感想には「養護教諭が授業を行うことで、学びが深まる授業となりました」「普段から校内の授業づくりを盛んにしていかなければ…」など、今後の授業づくりに対する前向きな記述が多くありました。



関川先生・宮嶋先生の公開授業の様子

子どもが夢中になっていく「目当て」と、教師の「ねらい」

◆11/17（火）算数・数学 授業公開と師範授業

講師：筑波大学附属小学校教官 山本 良和 様 授業者：日吉小学校 若林 望都 教諭

この講座では、4校時目に若林先生から小4の算数「広さ」の授業公開があり、午後は山本先生から、同学級で「割り算」師範授業と講義をいただきました。

若林先生の授業は、「どの花壇が広いか比べる方法を考えよう」という問いを迫る内容でした。午後の、山本良和先生の授業は、教師が与える課題ではなく子どもが取り組みたいと感じる内容で、時間の経過とともに問題意識が高まる見事な授業公開でした。その結果、気が付くと「割り算の商とあまりの関係を学ぶ」ねらいを達成していました。

私たちは、授業への思いが強いとつい「子どもが抱く疑問」ではなく「教師が考えさせたい課題」を提示する場合があるのかも知れません。山本先生は「少なくとも教職5年目以降は子どもが抱く疑問を重視した課題作りを！」と語っていらっしゃいました。



若林望都先生の公開授業の様子



山本良和先生の師範授業の様子

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆コンテンツサーバ(教育委員会資料)

登録日	資料名
11/2	ALT News Letter 第 42 号

■ スクールオフィス情報

中学校の就学予定者名簿を配布しました

11/4 付で中学校の就学予定者名簿を配布しました。そのままスクールオフィスに登録できるように加工したデータでお送りしていますので、「名簿 CSV アップロード登録」の画面から一括で登録していただけます。ただし、「クラス構成の設定」画面で、未就学クラスが最低1クラス設定されている必要があります。60人までは1クラスで登録可能ですが、それ以上の場合2クラスが必要です。教育センターで加工する際も、60人を超える場合は2クラスに分けてデータを作成しています。就学予定者は当年度の「未就学」クラスに登録されますので、変更は「未就学」クラスに対して行っていただくことになります。配布時は仮のクラス分けになっていますので、適宜調整してください。なお、「未就学」クラスの情報は、年度更新処理で、新年度の1年生として自動的に登録されます。

なお、このデータは10月下旬に作成されているもののようなので、実際の入学者とは一致しない可能性があります。また、行政側からのデータ項目は限定的ですので、学校区内の小中学校から卒業生となる学年のデータを CSV 形式で用意してもらい、それを使用の方が効率的かもしれません。(小中学校からのデータをそのまま登録することはできません。学年、クラス、出席番号、入校日、地区名など必要な項目の修正や、ID、パスワード、クラブ活動等の情報のクリアが必要です。)

■ 情報関連講習会のご案内

12月に実施される講習会

◆H27.12.16(水) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その7

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、11月11日付で11月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が4件、「重要」が8件です。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくようお願いします。

プロジェクト K

柏崎刈羽地区科学技術教育センターだより

【研修会・事業の様子】

○ 秋の植物観察会

- ◇日時 10月20日(火) 14:30～
- ◇会場 市野新田周辺
- ◇講師 柏崎植物研究グループ 相澤 陽一様
- ◇内容



上：解説をする相澤先生
下：参加者の様子

今回の植物観察会では水田脇に生えている植物や、市野新田の不動の滝近くの湿原観察地に生息している植物を中心に観察を行いました。水田脇の道にも、立ち止まってよく目を凝らしてみると多くの種類の植物があり、いくつものきれいな花をつけていることに気がきました。一年を通して観察することの良さを実感することができました。



○ 小6 水溶液の性質

- ◇日時 10月28日(水) 15:00～
- ◇講師 田尻小学校教諭 佐藤 隆雄様
- ◇内容

実験に用いる水溶液の調整を行った後、それぞれの実験でのポイントをおさえながら、ホットプレートを用いた析出の実験や、金属片を塩酸で溶かす実験を行いました。佐藤先生からは花びらで作った pH 指示液の紹介をしていただきました。参加者がそれぞれの気に入った花で指示液を作成したことで、色とりどりの酸性・アルカリ性の反応を学ぶことができました。



左：教材を紹介する佐藤先生
右：花から指示液を作っている様子

☆ 上越科学技術教育研究会 教職員理科研究発表会

～糸魚川・フォッサマグナミュージアム～

- ◇日時 11月19日(木) 10:00～
- ◇講師 上越教育大学大学院教授 桐生 徹 様
- ◇内容

上越科学技術教育研究会主催の教職員理科研究発表会が行われ、小学校、中学校、高校、社会教育施設での理科教育の24実践が発表されました。柏崎からも5名の先生方が参加し、素晴らしい実践を発表してきました。指導・講話では、桐生先生から「アクティブ・ラーニングと理科の学習」のお話をいただきました。先の学力・学習状況調査の結果を踏まえながら、これからの学習指導の在り方について、実践を基にしたお話でした。

学習の進め方の工夫や教材について情報をやり取りでき、多くの先生方からヒントを得て、子どもたちに何ができるか考えることのできる一日でした。

柏崎から参加された5名の先生方の発表は、1月14日の柏崎刈羽地区教職員理科研究発表会でもしていただきます。楽しみにしててください。



柏崎から参加して下さった先生方の発表の様子



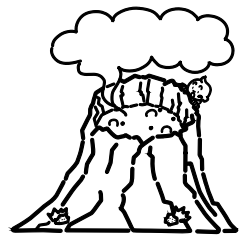
桐生先生のご講話の様子

<要請研修・研修サポート>

○ 地層観察会

- ◇北条小学校 10月16日(金)実施
- ◇新道小学校 10月29日(木)実施
- ◇二田小学校・内郷小学校 11月10日(火)実施

小6「大地のつくりと変化」の学習とかかわり、地層の現地観察会を行いました。いずれの小学校も聖ヶ鼻の露頭を中心に行いました。砂岩泥岩互層や凝灰岩を観察することができたり、駐車場と少し離れた海岸での層が延長線上にあることを確認したりすることができる露頭ですので、学習内容を深めることができます。地域の教材を生かした学習を行うことができました。



北条小(左)、新道小(中央)、二田・内郷小(右)の地層観察会の様子

○ 剣野小 クラブ活動

◇10月27日(火) ペットボトルロケットの作成

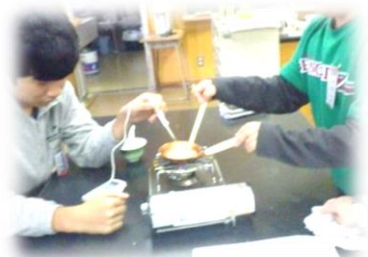
◇11月10日(火) 空気砲



手作りロケットの作成中

10月27日には、夏休み中に集めたペットボトル、牛乳パックを使ってペットボトルロケットを作成しました。作成するのに1時間かかったため、代表の子のみ発射しましたが、遠くまで飛ばすことができました。11月10日に全員のロケットを発射させる予定でしたが、雨天のため空気砲を作成しました。小さな空気砲でもドーナツの輪が飛び出す様子を見ることができました。

○ 比角小 クラブ活動



温度に注意しながら砂糖を熱しました

◇10月27日(火) 葉脈標本づくり

◇11月10日(火) カルメ焼き

10月27日の活動では、葉脈標本を作りました。危険な薬品を使うため、注意を払いながら行いました。全員が集中して取り組んだことで、きれいな標本を作ることができました。

11月10日のカルメ焼きでは、熱する温度と攪拌の仕方に注意をしながら取り組みました。上手に膨らませることは大人でも難しいのですが、成功させることができたグループもあり、楽しむことができました。

○ 大洲小 おおす Science Academy ◇10月31日(土) 実施

学校PTA行事として、実験ショーや科学工作を行いました。実験ショーでは「空気」をテーマにし、音の伝わり方や大気圧の実験をしました。科学工作では「光のたまご」「コップでトルネード」「入浴剤づくり」を低・中・高学年に分かれて行いました。最後は、全校で傘袋ロケットを作成しました。地域や保護者の方も交えての活動で、科学の面白さを伝えることができたのではないかと思います。



空気ので浮かせました



光のたまごに感激しています



調査して入浴剤を作ります

○ 剣野小 親子活動 ◇11月17日(火) 実施

科学の祭典ミニバージョンをという要請に応じ、3つのブースを開き、親子で活動しました。「アイスクャンディづくり」「ティッシュガン」「紙すき」を体験しましたが、親子でアイスを楽しんだり、ティッシュガンでまを倒して遊んだり、楽しい時間を過ごすことができたようです。



紙すきには水が必要



ティッシュガンでまを倒します



アイスクャンディを試食

【12月の研修会のご案内】

○ 上越の理科を語る会

◇日時 12月5日(土)

◇会場 上越市 高揚荘

◇内容 第32回目を迎える「上越の理科を語る会」。今回は新たに上越教育大学に赴任した小川准教授から「光の波動性と粒子性」についてご講演いただきます。詳細は、各学校に文書がまわっていますので確認をしてください。



○ 小5「もののとけ方」

- ◇日 時 12月25日(金)
 ◇講 師 刈羽村教育委員会 指導主事 小林 多佳子様
 ◇内 容



器具の正しい使い方や操作・実験の留意点を、予備実験をしながら学びましょう。物の溶け方の規則性や溶けている物を取り出すためのポイントについて研修をしていきます。粒子概念の見方、考え方を養っていきましょう。

平成27年度県下生物岩石標本展・自然科学写真展の結果

今年度の県の標本展には、柏崎刈羽地区から昆虫・植物・動物標本・自然科学写真部門合わせて12作品が出品されました。審査の結果、以下の賞を受賞しました。おめでとうございます。来年度も多くの皆さんの出品をお待ちしています。

部門	学校名	学年	氏名	テーマ	賞
植物	比角小学校	6	高橋 駿太	海藻標本	努力賞
	米山小学校	6	近藤 真央	海藻標本	銀賞
	第三中学校	2	近藤 梨乃	柏崎の海藻標本	努力賞
昆虫	荒浜小学校	4	石野 和磨	昆虫採集	金賞
	比角小学校	6	山崎 開智	柏崎の昆虫	金賞
	柏崎翔洋中等教育学校	2	山崎 智晴	柏崎地域を中心としたカミキリムシ及び蝶の標本	金賞
	東中学校	2	村山 嘉基	甲虫と植物の関係	銀賞
	柏崎高等学校	1	江口 一馬	谷根地域の地表性昆虫群集構造の解明と考察	金賞
その他 動物	半田小学校	1	伊藤 瑞貴	にいがたしこぼりはまのかい	努力賞
	田尻小学校	2	丸山 笙馬	かしわざきのたいのほねひょうほん	銀賞
	半田小学校	4	伊藤 奏絵	柏崎市大湊海岸採集の貝類標本	努力賞
	半田小学校	5	矢代 和	柏崎・刈羽の貝	銀賞

【師範授業&講演会のご案内】

柏崎市立教育センター主催
 柏崎市刈羽郡学校教育研究会 科学教育部共催

近々、以下のご案内が学校に届きます。せっかくの機会ですので、興味のある先生方、ぜひお出かけください。冬休み明けすぐの研修会になります。

平成27年度

理科師範授業&講演会

- 講 師：筑波大学附属小学校 教官 佐々木 昭弘 様
 ○日 時：平成28年1月14日(木) 13:55~(予定)
 ○会 場：柏崎小学校

※柏崎刈羽地区教職員理科研究発表会同日開催(午前)

参加を希望される方は、各学校に配布される申し込み用紙に記入し、理科主任を通してご提出ください。または、教育センターまでお電話ください。



心の窓

No.195

〒945 - 1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp



子どもたちの世界にも、子どもたちなりの悩みや不安があります。大人が目線から見ると、そんな小さなことでよくよするな、と思うこともあるかもしれませんが、それでも子どもたちにとっては、それは決して「小さなこと」ではなく、とても「大きな」悩みや不安なのです。しかし子どもたちは、その心に抱えるすべてを上手に説明できるわけではありません。拙い言葉で訴えることもあります。泣く、キレる、暴れるなどの行動として表出することもあります。そんな子どもなりの精一杯の発信に、周りの大人はどのように向き合えばよいのでしょうか。

取っかかりとして、まずは子どもの話をきくと考える方も多いと思います。ところが一口に「きく」と言っても「聞く」「聴く」「訊く」といくつかの言葉があります。それぞれの意味を漢和辞典で調べると、以下のようにありました。

「聞く」・・・(意味) ききとる。音声を耳に感じ取る。自然に耳に入る。

「聴く」・・・(意味) 耳を傾けてきく。注意してきく。積極的にきこうとする。くわしくきく。

「訊く」・・・(意味) たずねる。ききただす。問いただす。

この中でも、子どもの話をきくとき、子どもの言葉をただ耳に入ってくるままに「聞く」のではなく、その内容をいちいち「訊く」のでもなく、子どもの思いに耳を傾けて心を込めて「聴く」という姿勢が大切になってきます。例えば、子どもが悩みを漏らしたとき、親は「そういうときはこうすればいい」と即座に解決策を提案したり、正論や常識を教えてあげたり、心配のあまりにあれこれと問いかけたり、そのような話のきき方をすることもあるかと思いますが、しかしそれは子どもからすると、求めていたものではなく、「話してもわかってもらえなかった」と不満を募らせる結果となってしまう、両者とも悩みを解消したい思いは共通なのに、上手く噛み合わず気持ちがすれ違っていく…ということも考えられます。そんなとき子どもは、解決策や正解や質問よりもまず先に、自分のつらい気持ち・悲しい気持ち・イライラした気持ちをただ聴いて、受け止めてほしいと求めている場合も往々にしてあるものです。

自分の気持ちを受け止めてもらえたと感じられるだけで、子どもの中には大きな安心感が生まれています。弱音を吐ける場所、無条件に温かく受け入れてくれる場所、そんな場所があるからこそ、その安心感と自信を土台にして、子ども自ら悩みや不安、困難に立ち向かっていこうとする力が湧いてくるのです。

「聴」の字は成り立ちから、“耳をつきだし、真っ直ぐな心でよくきく”の意味を表しているそうです。保護者の方々は、家事や仕事、子育てなど、忙しくて目まぐるしい毎日かと思いますが、たまには子どもの心の声に、耳と心を傾けて「聴く」時間を作ってみてはいかがでしょうか。



参考文献：

富田富士也 (1998) 『だいじょうぶ、うん、だいじょうぶだよ』 ハート出版
(文責 相談員 鈴木 皓子)

☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

～芸術の秋～《陶芸教室》

ふれあいルームの芸術の秋といえば「陶芸教室」です。今年度は女子4人が参加しました。成形、絵付け、仕上げと、3回工房がある上下浜まで、のんびりと電車で揺られながら行ってきました。天気に恵まれ、電車から見える景色に秋を感じることができました。



講師の石井ご夫妻は、丁寧な技術指導だけでなく、子どもたち一人一人に温かい言葉をかけてくださるので、初めての体験で緊張している子どもたちの心もだんだんとほぐれていきます。自然と笑顔も多くなり、ゆったりとした時間のながれの中で、自然な会話やかかわりが生まれ、素敵な作品を作ることができました。

完成した作品は「ふれあい陶芸展」と題し、教育センター玄関ロビーに展示する予定です。あたたかい作品が並びます。ぜひ、ご覧ください。



～食欲の秋～《芋ほり》

ふれあい畑の秋の収穫は「さつまいも」です。粘土質の土の中でどんな風に育っているか心配しながら芋ほりをしました。想像よりはたくさん収穫でき、さつまいもを使った調理実習が楽しめそうです。土に触ることが苦手、虫が苦手で作業に参加できない子もいましたが、その場において同じ時間を一緒に過ごすことで、収穫する喜びを味わうことができました。

(ふれあいルーム指導員 須藤 直子)



教育相談班 12月の予定

《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ (SST)

- 4日(金) 16:30～17:30 小学生Aグループ
- 11日(金) 16:30～17:30 小学生Bグループ
- 18日(金) 16:30～17:30 小学生Cグループ
- 21日(月) 18:30～20:00 中学生第1グループ
- 22日(火) 18:30～20:00 中学生第2グループ

《ふれあいルーム》

- 8日(火)・9日(水) 保護者面談
- 10日(木) そば打ち体験
- 11日(金) ソフィアセンター
- 17日(木) スケート教室 ①
9:30～11:30 アクアパーク
- 22日(火) 後期前半通級終了



12月の行事予定表		
日	曜	研修・行事・会議
1	火	
2	水	
3	木	研: 同和教育現地研修13:30-上越市白山会館
4	金	相: いろいろ体験グループ小A 16:30-
5	土	科: 上越の理科を語る会(上越)
6	日	
7	月	相: 班会議13:00-
8	火	
9	水	
10	木	ふ: そば打ち体験9:00-半田コミセン
11	金	ふ: ソフィアセンター10:00- 相: いろいろ体験グループ小B 16:30-
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	情: フリーQ&A
17	木	研: 震災メモリアル施設活用研究14:00-まちから ふ: スケート教室①9:00-アクアパーク
18	金	研: ひきこもりの予防と対応14:30- 相: いろいろ体験グループ小C 16:30-
19	土	
20	日	
21	月	相: いろいろ体験グループ中① 18:30-
22	火	ふ: 後期前半通級終了 相: いろいろ体験グループ中② 18:30-
23	水	天皇誕生日
24	木	
25	金	科: 小5「もののとけかた」15:00-
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	年末休業
30	水	年末休業
31	木	年末休業
研・教育研究班 科・科学技術教育 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム 情・情報教育研修 育・育成センター		



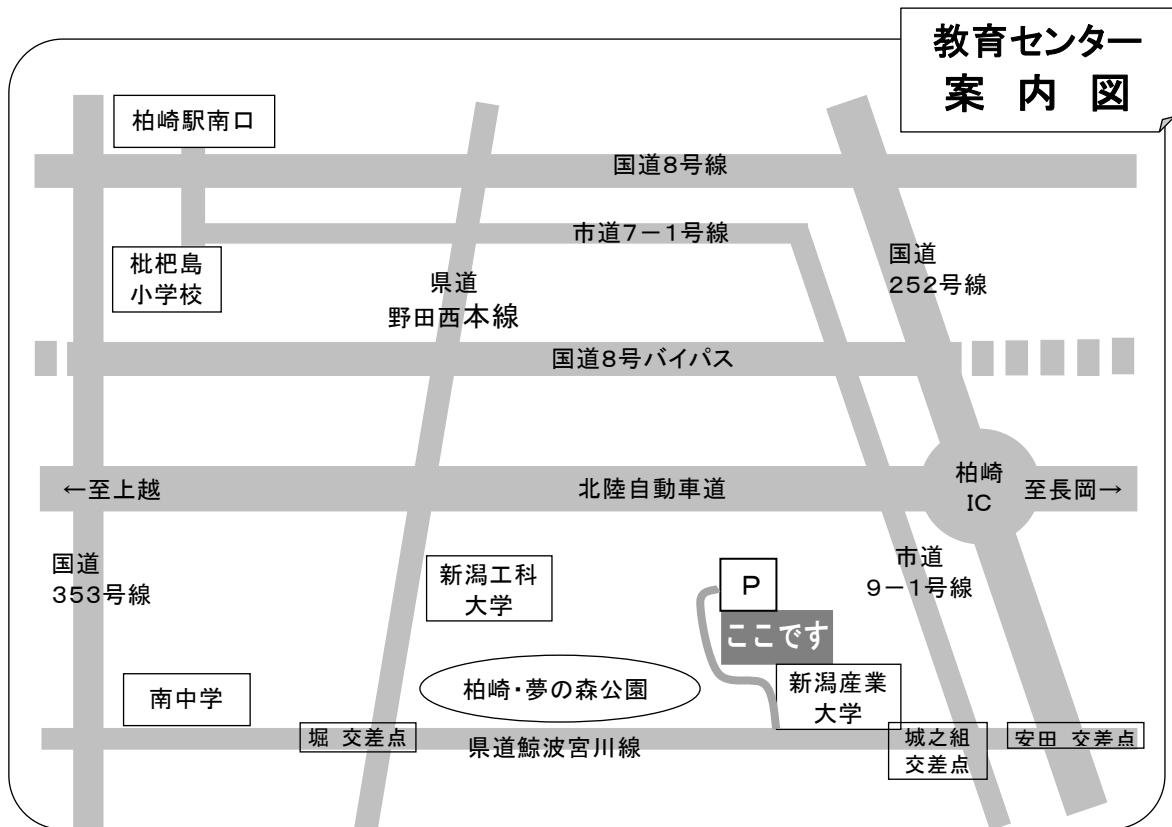
魚釣りが好きです

ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法

「あっ、釣りするんですか？実は私も、、、」という言葉から会話が弾む時があります。42kmも海岸線がある柏崎市ですから、釣りをしたことが無いの方が少ないかも知れません。また、海に行けば毎日のように釣り人がいます。「どうですか？釣れてますか？」と聞けば、初対面の方でも大体は親切に教えてくれます。私が釣りをしている時など、余程見ていられないのか横に来て延々と釣り講義を始める方もいらっしゃいます。のんびりやりたい私はちょっと迷惑だなあ、、、と思うこともあるのですが、渋々言うとおりにやってみると、なるほど理にかなっていると感心することがあります。同じ趣味があると話がしやすいものですが、特に釣りは子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が楽しめるので、色々な方々と交流ができて楽しいです。

昨年手漕ぎボートが安く手に入り、海の上にデビューしました。乗り合いの釣り船に乗ったことはありましたが、操船は船長まかせです。自分で操船するとなると手漕ぎボートでそれほど沖に出なくても、ライフジャケットを着て防水携帯を持って可能な限りの安全対策をしても、とても心細くなります。そんなに不安なら乗らなければ良いと思われるかも知れませんが、それでも海の上にポツンと浮かび釣り糸を垂れることは、実に爽快で捨てがたいものです。それに凧の日に海上から眺める米山は誠に絶景で柏崎に住む幸せを感じることができます。

私の今の目標は二級船舶免許を取ることです。そしたらもっと世界が広がるかなあ、などと夢を見ています。みなさん、私と釣り談義をしましょう。



教育センター案内図

〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

電子版の閲覧

イタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット（カラー）版は、柏崎市HPで「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、この支援システムトップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると過去のガリレイも閲覧できます。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.lg.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（いじめ不登校電話相談）

TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.lg.jp

教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成27年11月発行

